

2023年(令和5年)3月1日

ご門徒 各位

真宗大谷派福井別院
輪番 篠原 亨栄

毎月三度の定例会(ご案内)

ひがしごぼうどうぼう
—「東御坊同朋の会」再開—

「東御坊同朋の会」は発足して今年で15年目を迎えました。

このたび、会を刷新し再出発することにしました。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

- ◆ 開始は2023年(令和5年)4月から
- ◆ 当別院ご門徒は、どなたでも参加可能です
- ◆ 毎月13日・25日・28日(午後1時30分始)に以下のテーマで定例会を開催します

【テーマ】

- 13日「仏教・宗教なんでも疑問・質問」
- 25日「蓮如上人の『御文』について」
- 28日「宗祖・親鸞聖人の生涯について」

※ 好きな日を選んでご参加ください。(複数・全日参加可)

※ 25・28日の講話は後日、動画配信も検討しています

- ◆ 定例会の日程と内容の概要は裏面にて
- ◆ 会費は無料です。

【お問い合わせ先】

しんしゅうおおたに は ふく い べついん ひがしべついん

真宗大谷派福井別院(東別院)

(0776) - 21 - 4100 (代)

【日程】 毎月13・25・28日とも同じ

13:30～ 勤行(正信偈、念仏讃三洵)

14:00～ 各テーマでのお話 ※

(休憩と質問)

15:00 終了予定

※ 25・28日の講話は後日、動画配信も検討しています。

※ 各日の詳細は、裏面「毎月三度の定例会」予定表を参照ください。

【期 日】 令和5年4月より毎月以下の日に開催

毎月13日 京都・東本願寺の先代門首の御命日

蓮如上人御影道中や吉崎の歴史、東本願寺や福井東別院の仕組みや運営方法などについて、お話しします。

毎月25日 本願寺8代・蓮如上人の御命日

蓮如上人の書かれた『御文』について、江戸時代の『御文来意鈔』(どのような経緯で80通の御文が書かれたかが紹介されている書物)を読みながら、お話しします。

毎月28日 宗祖・親鸞聖人の御命日

親鸞聖人の生涯を描いた「御絵伝」(絵画部分)の説明と「御伝鈔」(文章部分)の現代語訳をした上で、お話しします。

東御坊の会「毎月三度の定例会」予定表

	13日	25日	『御文』第●帖▲通	28日	『御伝鈔』上・下巻第●段	
4月	蓮如上人御影道中はいつ頃から始まったのか	みな吉崎へ来る理由は何だ？	「吉崎建立」1-8	母との別れ（九歳）	「出家学道」上-1	4月
5月	なぜ、蓮如は吉崎に来たのか	国主・朝倉敏景との対話	「物忌」1-9	師・法然聖人との出会い（二十九歳）	「吉水入室」上-2	5月
6月	福井別院の成り立ち	毎月二度の寄合を見て	「年来超勝寺」1-12	与えられた道（二十九歳）	「六角夢想」上-3	6月
7月	「正信偈」【おつとめ練習】	25日と28日の由来	「毎月両度」4-12	弟子から見た親鸞聖人（八十四歳）	「蓮位夢想」上-4	7月
8月	（お盆休み）	加賀城主・富樫政親との対話	「宗名」1-15	往生浄土の証明（二十九歳）	「選択付属」上-5	8月
9月	秋の報恩講について	自力の念仏は離れ難い	「出家発心」1-2	先輩への挑戦（三十歳頃）	「信行両座」上-6	9月
10月	秋初穂志と相続講志について	吉崎御坊に対する苦情	「雪中」1-5	先輩への挑戦2（三十歳頃）	「信心諍論」上-7	10月
11月	「念仏和讃」【おつとめ練習】	毎年の報恩講は何のため？	「御正忌」5-11	画家が見た親鸞聖人（七十歳）	「入西房艦察」上-8	11月
12月	福井別院と東本願寺の関係	生きるために殺生する人へ	「獵漁」1-3	（歳末休み）		12月
1月	福井別院と福井教区の違い	無宗教・自由が救いか	「御袖」2-13	罪人の生活（四十歳）	「師弟流謫」下-1	1月
2月	福井別院の体制について	越前に広まる邪教に対して	「秘事法門」2-14	師・法然聖人との別れ（四十二歳）	「稲田興法」下-2	2月
3月	福井別院の運営と会計について	仏教を間違っって聞くと	「九品長楽寺」2-15	山伏の改心（四十二歳）	「弁円済度」下-3	3月

【日 程】毎月13・25・28日とも同じ

13：30～ 勤行（正信偈、念仏讃三淘）

14：00～ 上記テーマでお話

（休憩と質問）

15：00 終了予定

【13日】京都・東本願寺の先代門首の御命日

蓮如上人御影道中や吉崎の歴史、東本願寺や福井東別院の仕組みや運営方法などについて、お話しします。

【25日】本願寺8代・蓮如上人の御命日

蓮如上人の書かれた『御文』について、江戸時代の『御文来意鈔』（どのような経緯で80通の御文が書かれたかが紹介されている書物）を読みながら、お話しします。

【28日】宗祖・親鸞聖人の御命日

親鸞聖人の生涯を描いた「御絵伝」（絵画部分）の説明と「御伝鈔」（文章部分）の現代語訳をした上で、お話しします。